

2024年4月18日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
三井不動産ビルマネジメント株式会社
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

三井不動産グループ × ピクシーダストテクノロジーズ 約100言語に対応「VUEVO字幕透明ディスプレイ」を、「日本橋三井タワー」に初常設 聴覚障がい者や外国語話者との円滑なコミュニケーションを実現

本リリースのポイント

- 「VUEVO(ビューボ)字幕透明ディスプレイ」を「日本橋三井タワー」へ初常設。「東京ミッドタウン八重洲」と「日本橋室町三井タワー」へ順次設置。
- 「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」は、独自開発ワイヤレスマイク・アプリケーションを用いて、精度の高いリアルタイム字幕表示と多言語翻訳機能を提供。施設利用者とスタッフの正確な双方向コミュニケーションを支援し、聴覚障がい者や外国語話者にとってバリアフリーなインフォメーションサービスの提供に寄与。
- D&Iを推進しインクルーシブな社会の実現を目指して、障がいの有無や言語の違いに関わらず、誰もが安心して過ごすことのできる「行きたくなる街」へ向け、今後の施設運営における更なる活用を積極的に検討。

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下「三井不動産」)、三井不動産ビルマネジメント株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:村上弘、以下「三井不動産ビルマネジメント」)、大学発のテクノロジー企業であるピクシーダストテクノロジーズ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:落合陽一、村上泰一郎、以下「PxDT」)は、2024年4月1日に、「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」を「日本橋三井タワー」1階インフォメーションへ初めて常設したことをお知らせします。

2024年4月より、障害者差別解消法の改定により「合理的配慮の提供」が義務化され、事業者による積極的な対応が求められており、加えて、インバウンド需要の回復に伴い多言語対応がより必要性を増しています。

今般、D&Iを推進しインクルーシブな社会の実現を目指して、障がいの有無や言語の違いに関わらず、誰もが安心して過ごすことのできる「行きたくなる街」へ向けた試みとして、本設置に至りました。

PxDTが提供する自動音声認識技術と翻訳技術を活用し、リアルタイムに字幕を表示する「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」を導入することで、聴覚障がい者や外国語話者とインフォメーションスタッフがスムーズなコミュニケーションを図ることが可能となります。これまで2022年12月・2023年6月の2回に渡り、「日本橋三井タワー」において「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」を用いた実証実験を実施し、聴覚障がい者だけでなく、来日した外国人などからも母国語での会話が喜ばれる等の成果が見られました。近日中に、「東京ミッドタウン八重洲」「日本橋室町三井タワー」への設置を予定しており、他施設へも順次設置を進め、本技術の社会受容性および効果検証を行うとともに、今後の施設運営における更なる活用を積極的に検討してまいります。



日本橋三井タワー1階インフォメーション設置の様子

■VUEVO 字幕透明ディスプレイについて

「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」は、PxDT 独自開発のワイヤレスマイクと専用アプリケーションを用いたサービス「VUEVO」で培った技術と多言語翻訳機能・透明ディスプレイを組み合わせ、会話の字幕をリアルタイムで透明ディスプレイの両面に表示することができます。透明ディスプレイの両側に字幕が表示されるため、対面でのコミュニケーションを円滑に進めることができます。

リアルタイム字幕と、約 100 言語の多言語翻訳に対応しており、聴覚障がい者/難聴者との会話・外国語での会話、どちらの場面においてもシームレスに専用のアプリケーションから操作し対応ができます。PxDT は「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」によって、障がいの有無や言語の違いによるコミュニケーションバリアのない世界の実現を目指します。

・VUEVO について

「VUEVO」は、独自開発のワイヤレスマイクと専用アプリケーションを用いて、聴覚障害や聞こえにくさがある人と聴者をつなぐサービスです。

<https://vuevo.net/>

※「VUEVO 字幕透明ディスプレイ」は筑波大学 Digital Nature Group※(代表:落合 陽一准教授)の字幕表示に関する研究成果を応用したものです。

技術詳細:<https://digitalnature.slis.tsukuba.ac.jp/2021/02/see-through-captions/>

※PxDT と筑波大学は 2017 年 12 月に特別共同研究契約を開始し「デジタルネイチャー推進戦略研究基盤」(通称 Digital Nature Group powered by Pixie Dust Technologies)を筑波大学内に設立、共同研究と研究成果の連続的な社会実装に取り組んでいます。

■設置概要

- (1) 場所:日本橋三井タワー1 階インフォメーション
設置日:2024 年 4 月 1 日
- (2) 場所:日本橋室町三井タワー1 階オフィスエントランス受付
設置日:2024 年 4 月 19 日(予定)
- (3) 場所:東京ミッドタウン八重洲 1 階インフォメーションカウンター
設置日:2024 年 4 月 26 日(予定)



日本橋三井タワー



日本橋室町三井タワー



東京ミッドタウン八重洲

■三井不動産株式会社について

URL : <https://www.mitsuifudosan.co.jp/>

・事業概要

三井不動産は、街づくりを通じて社会課題の解決に挑戦し、新たな価値を創っていく総合デベロッパーです。「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ& インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality

■三井不動産ビルマネジメント株式会社について

URL : <https://www.mfbm.co.jp/>

・事業概要

三井不動産ビルマネジメント株式会社は、三井不動産グループのオフィスビル事業の中核を担う会社として、ビルのプロパティマネジメントを中心にテナント企業や地域・社会に対するさまざまな付加価値の提供を行っています。社会・経済環境の変化とともに、「働き方」が多様化し、オフィスは単に働く「場所(スペース)」ではなく、創造的で革新的な価値を生み出す「場面(シーン)」になっていくと捉えています。当社は、「オフィス」「働き方」の新たな在り方をつくっていく「Only One 企業」としての強い覚悟意志をもって「ビジネスシーンの明日を変えていく」ことに挑戦し、さらなる進化を続けてまいります。

■ピクシーダストテクノロジーズ株式会社について

商号 ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

ティッカーシンボル PXDT (NASDAQ 市場)

会社設立 2017年5月

代表取締役 落合 陽一、村上 泰一郎

所在地 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

URL <https://pixiedusttech.com/>

・事業概要

ピクシーダストテクノロジーズは、計算機科学(コンピュータサイエンス)と音や光などを自在に操る独自の波動制御技術の融合により、コンピュータと非コンピュータが不可分な環境を構築し、言語や現象、アナログとデジタルといった二項対立を循環的に超えていく「デジタルネイチャー」の到来を見据えています。私たちは、現在、波動制御技術をメカノバイオロジーや視覚・聴覚・触覚への介入・補助をする「パーソナルケア&ダイバーシティ」領域と、メタマテリアル(材質ではなく構造で特性を生み出す技術)やオフィス・工事現場等の課題解決のために適用する「ワークスペース&デジタルトランスフォーメーション」領域の2つの主要な領域に重点を置いて製品を展開しています。急速に進化していくコンピュータに対して、私たち生物の身体(ハードウェア)の進化は非常に遅く、その差はますます開こうとしています。ピクシーダストテクノロジーズはこの両者の間をうまく調停し、生活に対してよりよい価値を生み出し続けます。

* VUEVO 及び関連するロゴは、ピクシーダストテクノロジーズ株式会社の商標又は登録商標です。

- 記載されている会社名、ロゴ、システム名、商品名、ブランド名などは、各社の商号、登録商標、または商標です。

【SDGsについて】

2015年の国連サミットで採択された2030年に向けての国際目標「SDGs:持続可能な開発目標」。17の目標と169のターゲットが定められており、様々な主体の連携による取り組みが必要となっております。

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における4つの目標に貢献しています。

- | | |
|-------|-----------------|
| 目標 3 | すべての人に健康と福祉を |
| 目標 9 | 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 目標 10 | 人や国の不平等をなくそう |
| 目標 11 | 住み続けられるまちづくりを |

